

(別添7)

事業所名 グループホーム庄屋の里

## 2 目標達成計画

作成日: 令和5年6月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ禍で面会制限が続き、家族交流が少なくなっていることから、刺激が少なく表情が乏しく病状悪化の一因となっている。	事業所として、制限がある中、いきいきと生活できる環境づくりをする。	①家族との交流の増加 積極的に面会への呼びかけ、コロナ禍で日頃の生活状況が伝わりにくいこともあり、個々に収めた写真を本人、家族と共有することで楽しみや会話ができるようにする。	10ヶ月
2				②外出の機会の増加 短時間でも自宅に帰れる機会を作る。また、家族及び家がない方は、生まれ育った地域へのドライブを行うことで、思い出話やその人の育った環境を知ることによって支援の幅を広げる。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。